

令和8年度 第2回 葵が丘小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年6月18日（木） 15時00分から16時30分まで
- 2 開催場所 葵が丘小学校 南校舎1階 多目的室
- 3 出席委員 小栗 則利、桐村 哲雄、見野 泰弘、田村 都弥、伊藤 謙吾、
斎藤 美代子
- 4 欠席委員 柳澤 照美
- 5 オブザーバー 嶋田 哲也（北部協働センター所長）
- 6 学校コーディネーター 西原 真知、吉田 里美
- 7 学 校 小山 貴広（校長）、土屋 里佳（教頭）、杉山 瑛一（CS担当職員）、
村上 朝香（CSディレクター）
- 8 教育委員会 林 亮吾
- 9 傍 聴 者 なし
- 10 会議録の作成者 CSディレクター 村上 朝香
- 11 議長の選出

小栗会長より、見野委員が務めることが提案され、全員異議なくこれを承認した。

12 協議事項

- (1) 特色のある学校づくり（子供たちと地域）について

13 会議記録

司会の土屋教頭から、委員総数7人のうち6人の出席があり、過半数を超えているため、会議が成立している旨の報告があった。

○ 熟議

- (1) 特色のある学校づくり（子供たちと地域）について

1. 議長の指示により、校長から、新学期開始から2ヶ月が経過した子供たちの様子と学校行事について報告があった。また桐村副会長から、別紙資料に基づき、高丘東地区の現状について説明があり、委員から以下の発言があった。

・ 今年の浜松まつりだが、高丘地区での葵が丘小児童の参加者は、瑞穂小に比べると大変少ないように感じた。実際はどうか。（小山校長）

→ お囃子に関して、瑞穂小の参加者20名に対し、葵が丘小は未参加であった。
子供が興味を持っても、親側のハードルが高く（保護者の同伴が必要、祭り用品を一式揃えなければならないなど）、参加者が増加しないことも理由の一つではないか。（西原コーディネーター）

→ 葵東地区の子供の参加者は100名ほどいたが、子供会のイベントの参加は少ないように感じる。（伊藤委員）

→ 開催場所の影響も大きい。葵東地区に近い高丘東地区住人の多くは、葵東で参加している。高丘東は広域であることと、行事の会場が「西地区」に偏っていることから、不便に感じることもあり、葵東で参加する傾向がある。（小栗会長）

→ 我が家も葵東で参加している。小規模で、親としては参加しやすい。
（吉田コーディネーター）

- ・ 高丘チルドレンの行事参加者が多いが、成功要因はなにか。(小山校長)
 - 伝統行事に比べ、水鉄砲大会という子供に特化したイベントであったことが子供の関心を惹いたように思う。(桐村副会長)
2. 議長の指示により、小山校長と桐村副会長の説明を受け、「地域全体としての課題」と「学校として協力できること」についてグループ協議を行い、各グループから以下の発言があった。
- Aグループ
 - ・ 伝統芸能（浜松まつりのお囃子）の関心を高めるために、練習を屋外で練習を行い、子供たちの目に留まる機会を増やす。
 - ・ 学校のクラブ活動にお囃子を取り入れる、あるいは授業で披露する機会を設ける。
 - Bグループ
 - ・ 地域の大人が積極的に子供に声をかけ、危険な行動をした際には叱るという関係性を構築する。
 - ・ 学校や地域に関わる大人を増やし、顔の見える関係を作り、子供たちの安全を守る体制を整える。
 - Cグループ
 - ・ 学校へのポスター掲示や、子供たちが興味を持つような「お菓子の引き換え券」付きのチラシ配布など、広報手段を工夫する。
 - ・ 「高丘チルドレン」の公式LINEを活用するなど、新しい情報発信を取り入れる。

上記のグループは表を受け、委員より以下の発言があった。

- ・ お菓子の引換券付きのチラシ配布は良いアイデアだと思う。(見野委員)
- ・ 葵東地区では、夏祭りのポスターを子供たちに描かせている(小栗会長)
- ・ 伝統芸能を教える指導者が地域にいないというデメリットはあるが、学校として協力できることは行いたい。(小山校長)
- ・ 浜松まつりのお囃子に関して、知らない住人も多いのではないかと。(齋藤委員)
 - 友達同士の声掛けが重要である。(伊藤委員)
 - 高丘チルドレンのイベントでラッパ披露している。(吉田コーディネーター)
- ・ 法被やラッパは高価であるため、一式揃えるのは難しい。(西原コーディネーター)
 - 以前はバザーを実施し、リサイクルを行っていた。(伊藤委員)
 - 制服、体操服のリサイクルは実施している。法被も可能。(小山校長)
 - 高丘地区では、子供用法被のリサイクルを呼び掛けたところ、20着回収できた。貸出用として使用している。(桐村副会長)

小栗会長より、子供たちが地域に愛着をもって成長していけるよう、今後も学校と地域が連携していくことが必要であるという意見が出された。

協議の結果、全員異議なくこれに賛同した。

◇ その他連絡事項等

- ・ 学校支援コーディネーターから、4，5月度の活動報告及び、今後の活動計画の連絡があった。
- ・ 司会から、次回会議は令和8年11月20日（金）15時から多目的教室で開催する旨の報告があった。